

週刊新社会

2月2日

2010年 火曜日発行
第668号 [通巻788号]

振替00140-0-149727 1ヵ月600円 1部150円 40円
発行所:新社会党 <http://www.sinsyakai.or.jp>
E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町7-9 京桜興産ビル3F TEL.03-5643-6002 FAX.03-3639-0150

◆今週の紙面から◆

地震の前にアスベスト除去を
オバマの1年 進まぬ「生活のチェンジ」
日本経団連「経営労働政策委員会報告」批判
JR不採用問題で政府・与党が動く

2面
3面
4面
6面

稲嶺さんが当選

名護市長選

新基地を造らせない

「辺野古に新基地を造らせない」。1月24日に投票された沖繩・名護市長選で勝利した稲嶺進氏(64歳)が支援者を前に宣言した。米軍普天間基地の名護市辺野古移設に反対する稲嶺市長の誕生で、14年間迷走した同基地の県内移設計画は事実上、なくなった。だが、政府は国外を除外し、県内・県外で検討しており予断を許さない。



勝利を喜び合う稲嶺進氏(中央)と支持者たち
= 1月24日、名護市大中の選対本部

稲嶺氏=社民、共産、社会大衆、民主、政党をつぶす推薦の得票数は1万7950票。対する現職の島袋吉和氏は1万6362票。投票率は76.96%だった。

当選が決まり、稲嶺氏は「辺野古の海に基地を造らせない」という公約を信念をもって貫いていきたい」と強調。この瞬間、民意は一つになった。13年間、名護市民は辺野古移設をめぐる3回の市長選、1回の市民投票を経験、今回が5回目の選択だった。

稲嶺氏は市政刷新を掲げた。名護市は基地移設の代償に、国から地域振興の名目で13年間に60億円の援助を受けた。だが、商店街に空き店舗が目立ち地域は疲弊する

一方、今回の市長選で、市民は「振興策」を受けた。次は政府が決断する番だ。沖繩県民の意思、米国の意向、3党の合意のほがまで迷走してきた鳩

山内閣。稲嶺氏当選の報を受けた首相は、あらためて「ゼロベースで5月末までに結論を出す」と述べた。ここから、全国から米軍基地を撤去させる運動が始まる。



ヤマガラ

おみくじ

四季の山 65

子どものころのこと、ヤマガラが客から受け取ったお金をくわえ、模様の神社の賽銭箱に入れ、中からおみくじを引いてくる。不思議で面白く、とっても驚いたものだった。江戸時代にはもう庶民の楽しみになっていたよ。

里山では普通に見られる鳥だが、色彩も豊かで存在感がある。秋、エゴの実がなると、果実の毒を除き、器用に割って食べる。写真と文 宮城・横内勲

羅針盤

鳩山政権の最高実力者のアノ人、もどろ見ても宇宙人である。異能、という異相

四季の句

枯園や神慮にかなふ薔薇 一つ 中田みつほ
亀戸天神の枯園に梅が咲き、合格祈願の絵馬。

撤去せよ普天間基地

名護市長選挙は、基地建設反対の稲嶺進氏が勝利した。思わず万歳と叫んでしまった。何度も現地を訪れ、ときには船に乗ってジュゴンの棲むサンゴ礁の海を目の当たりにしている私は、これぞ美しい辺野古の海が、民衆を抑圧し、人を殺す戦争の前進基地にならずに済むと確信する。そして、辺野古の漁港での住民同士の基地建設をめぐる反対・賛成のいさかいを経験した私は、政府はこの結果

直言

松枝佳宏の書記長



を受け入れ、普天間基地は移設ではなく撤去を決断せよと心から訴える。本来、辺野古の海は豊富な海産物に恵まれ、住民はそれでつましやかな暮らしをたてていたと聞いた。誰が望んで軍事基地を誘致するものか。

薩摩支配から明治政府による琉球処分、沖縄は常に差別分断されてきた。そして、沖縄戦から今日まで一方的に犠牲を強いられてきた。その沖縄で、名護市民が13年前の住民投票で基地建設ノーを突きつけた。

それを無視し、アメリカの圧力と本土のゼネコンのために、カネと権力で住民の中に対立を持ち込み、分断し、強引に基地建設を推

進してきたのは日本政府なのである。鳩山政権はこれ以上、沖縄に負担と分断を要」という。今にでも「北朝鮮」や中国が日本に攻め込んでくるかのような物言いである。

鳩山首相は東アジア共同体法9条に真に向かい対立する日米安保条約そのものである。そして、岩国、横須賀、三沢などで、米軍と一体となった自衛隊の強化が進んでいる。つまり全国に

全国に沖縄がある

沖縄がある。そこにも闘いがある。政権交代は、日米安保を見直し、9条を生かすチャンスなのである。

デフレ・政権交代下の春闘 経営側 定昇凍結も 全労協 生存権守る

デフレ不況に政権交代が重なる新事態の下、春闘が始まった。日本経団連は1月19日、春闘方針を「経営労働政策委員会報告」を発表。「賃金より雇用」を重視、ベースアップに続き定期昇給凍結

を打ち出した。連合はベア統一要求を見送り、「定昇確保、賃金カーブ維持」を求める。25日「労使フォーラム」、26日「労使懇談会」と闘う春闘は影を潜めた。

春闘の中核組合IMF-JC(全日本金属産業労働組合協議会)は2月25日までに要求を提出、3月17日を集中回答日とする交渉日程を組む。全労連は、外需頼みの日本経済を作り出した財界の責任を問ひ、貧困と格差の解消、賃上げで不況克服を求めて闘う。全労協は、「定昇維持かストップかの攻防ではない」とし、「労働者の生活・権利・人権」を重点にストライキと大衆行動で闘い抜く方針だ。

が重なる新事態の下、春闘が始まった。日本経団連は1月19日、春闘方針を「経営労働政策委員会報告」を発表。「賃金より雇用」を重視、ベースアップに続き定期昇給凍結

を打ち出した。連合はベア統一要求を見送り、「定昇確保、賃金カーブ維持」を求める。25日「労使フォーラム」、26日「労使懇談会」と闘う春闘は影を潜めた。

を打ち出した。連合はベア統一要求を見送り、「定昇確保、賃金カーブ維持」を求める。25日「労使フォーラム」、26日「労使懇談会」と闘う春闘は影を潜めた。

を打ち出した。連合はベア統一要求を見送り、「定昇確保、賃金カーブ維持」を求める。25日「労使フォーラム」、26日「労使懇談会」と闘う春闘は影を潜めた。